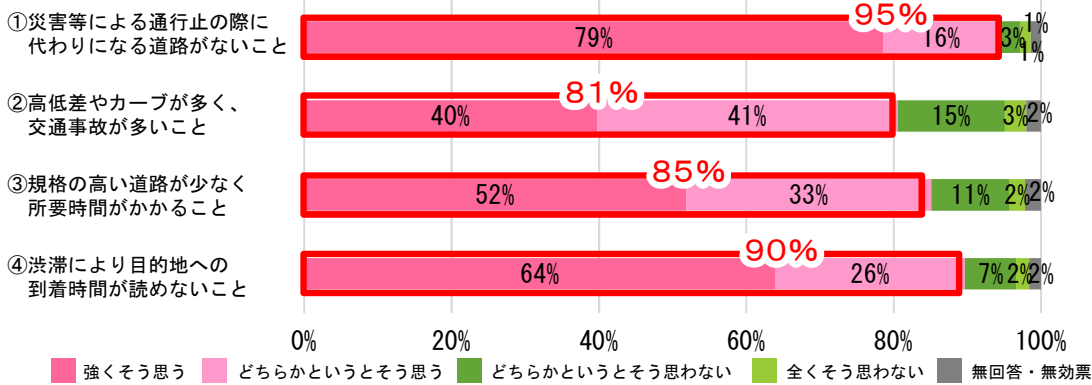


# 第1回 意見聴取の結果

- ・伊豆湘南道路に求められる役割などについて、アンケート調査（期間：令和3年8/10～9/17）を実施
- ・対象は、県境周辺5市町（小田原市、真鶴町、湯河原町、熱海市、函南町）の住民等
- ・回答（33,526通）の約9割が、建設を期待する肯定的な意見
- ・特に、災害に強い（31,814通）、移動時間の短縮に寄与する（30,915通）道路に期待する意見が多かった

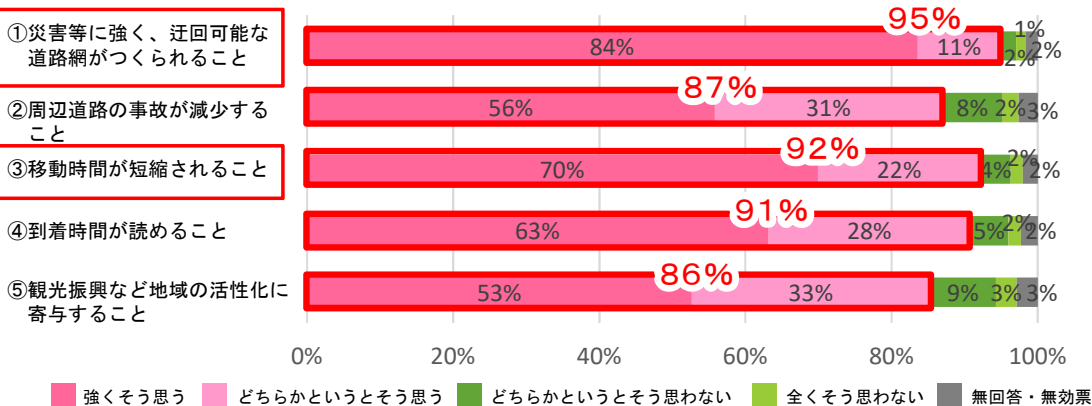
## ■ 神奈川と静岡の県境周辺の道路の課題

神奈川と静岡の県境周辺の道路の課題について、①～④全ての項目において8割以上の人が課題だと認識しています。



## ■ 神奈川と静岡の県境をまたぐ道路（伊豆湘南道路）に期待すること

神奈川と静岡の県境をまたぐ道路（伊豆湘南道路）に期待することについて、①～⑤全ての項目において期待する人が約9割で、特に防災の関心が高い傾向です。



## ■ アンケート調査の回答数

分類		回収数 (件)
総合計	個人 (合計)	31,616
	住民	1,580
	道路利用者	33,196
	団体等	330
		33,526

## ■ 主な意見・要望

- ・伊豆山の土砂災害で孤立状態になった。安全・安心の生活の為に伊豆湘南道路の検討は、不可欠だと思う(熱海市民)
- ・近年の異常気象による降雨、高潮による冠水、土砂災害による不通など、災害時の動線確保は喫緊の課題と考えるため、本道路の必要性を強く感じている(消防署)
- ・災害時等の迂回路確保、渋滞の緩和、観光客並びに地域住民等の利便性向上のため早期の実現を希望する(観光協会)
- ・都内から伊豆に行く＝時間が掛かる、家族が耐えられないイメージで敬遠している(東京都民)
- ・国道135号は行楽シーズンを中心に常に渋滞している。東京静岡間の高規格道路は東名、新東名、国道246号全てが御殿場経由であり、横浜湘南地区から静岡方面へ抜ける高規格道路が必要と考える(東京都民)
- ・東名、新東名のバイパスとしても機能すべく高規格な道路が望ましい(川崎市民)
- ・工事段階で地盤沈下などがないよう、地盤や土壌をしっかりと調査してほしい(小田原市民)
- ・自然環境に十分配慮し計画を進めて欲しい(小田原市民)